

ハートリレーキャンペーン

シーテック クリック募金 2023 報告書

クリック募金開設期間:2023年6月1日~2024年1月31日

クリック募金は期間内に2万クリックを達成しました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。ご寄付は以下の5団体に配分し各活動に使わせて頂きました。2023年度に実施した活動をここにご報告致します。

(特活) 地域国際活動研究センター(CDIC・シーテック)

東ティモール民主共和国リキサ県マウメタ村にて、現地 NGO をカウンターパートにしています。マウメタ村民と連携して村の共有地にある水源地の保護活動をしています。植林した木は8m以上に成長し、数も増え、水源の保護林となっています。この林は同時に小川の水を増やし、家畜の飲み水や村人の生活用水にと大きく役立っています。

現地 NGO は自ら UNDP や環境省の支援を受け、自立してきています。水源からパイプで水を流し、魚の養殖を始め、草花の栽培など環境意識を育てる活動も取り組みました。女性が中心になったマイクロクレジットなど次第に活動も多方面に広がってきています。

一方、ネパール国では2015年の大震災で倒壊した小学校を訪問し、子どもたちと交流してきています。今後は村人と伝統芸能を通じて交流し、田園地帯を活かした環境を育てる活動ができないか考えています。



保護林の下草刈りなど手入れ作業



東ティモール支援地で小川の水源を利用した魚の養殖

ニカラグアの会

新型コロナウイルスの世界的感染がやっ
と落ち着きをみせたものの、ウクライナや
ガザでの戦争激化など、国際協力 NGO と
して動きにくい状況が続いています。また、
ニカラグアの政治も独裁化という問題があ
り、当会の活動も再考をしているところ
です。が、地域自立を図ることは、変わら
ず重要です。そのためにも再生可能エネ
ルギーの普及また「環境保全」活動を進
めていくつもりです。

会の活動としては、例年、ニカラグア
の素朴画を使ったカレンダーを製作・販
売し、400部ぐらいを売っています！こ
れで得た収益金を、太陽光パネル製作
講習会や工房としてお借りしている「
学校」に寄付し、運営をサポートして
います。その学校は、地域のために多
方面に活動をし、自分たちの尊厳を高
めながら、より自律的で心豊かな生活
となることを目指しています。



(2枚の写真とも、ニカラグア北部の街・エステリにある夜間女性成人学校においての、2019年手作りソーラーパネル講習会風景)

南遊の会

新型コロナの影響で実施できずにいたベトナム、ホーチミン市郊外カンザー地区でのマングローブ再生林のためのスタディツアーを2019年以来4年ぶりに再開することができました！日本側の参加者は大学生を中心とする29名、ベトナム側はホーチミン市にあるホンバン国際大学の学生24名で、コロナ前とほぼ同様の人数で、2023年8月に実施されました。スタディツアーでは、3日間に渡って放棄塩田で植林作業を行いました。今回も2019年までと同様、パイオニア樹種であるマヤブシキ、ヒルギダマシ、ウラジロヒルギダマシの3種を植林しました。また、2018年までの植林地

での生育調査も行いました。そこでは植林苗は順調に生育し、裸地となっていた放棄塩田のほとんどを緑が覆うほどに成長していました。



放棄塩田での植林作業

コロナ禍の中で、海外に行くことはおろか、同世代の外国人と直接交流する機会すら得られなかった日越両国の学生たちにとっては待ちに待った体験の場となりました。寝食を共にし、泥と汗にまみれながら互いに協力しあって植林活動に奮闘したことで、環境保全の重要性や異文化交流のすばらしさに改めて気づくと共に、深い友情を育むことができましたようです。現地森林管理署の皆さんも私たちの活動の再開を待ち望んでいたようで、これまでも増しての大歓迎を受けました。

カンザー地区のマングローブ林はベトナム

（認定特活）アイキャン

フィリピン全土で、約37万人にも及ぶ路上での生活をする子どもたち。空腹や病気等に苦しみ、事故や犯罪に巻き込まれる危険に常にさらされています。そして、そのほとんどは毎日学校に行くのではなく、危険あふれる路上に行き、働くことでわずかな小銭を稼ぎながら命をつないでいます。

そうした子どもたちが、安心安全な場所で暮らし、将来的に自立した生活を送ることができるよう、アイキャンでは、身寄りがなく、育児放棄された子どもたちを受け入れる児童養護施設「子どもの家」を運営しています。ここでは、衣食住や学校教育だけでなく、子どもたち自身がガーデニングを行いインゲンやモリンガを含む、栄養価の高い野菜を栽培することで情操教育の一環や、持続可能な運営を目指しています。収穫した野菜や果物は、子どもたちもお手伝いをしながら調理して、健康意識も育てています。

今後も、子どもたちとの活動を継続してまいりますので、引き続きお力添えの程よ

く戦争時に枯葉剤によって壊滅的被害を受けました。その後、地元の人々の努力によって緑は回復しましたが、単一樹種を植林したため本来の多様性は失われています。また植林後に塩田として開発された土地もあり、近年はその塩田が放棄されつつあります。南遊の会は、この森を本来の多様性に富んだ姿へ回復させるべく、2001年以來日越協働での再造林事業に取り組んでいます。森造りには長い年月が必要です。私たちは微力ながらもできる限り息の長い活動を続けていこうと考えています。

ろしくお願いいたします。



庭でとれた果物でお店屋さんごっこをする子ども



インゲン、モリンガ、さつま芋が植えられた菜園

(特活) イカオ・アコ

イカオ・アコは、フィリピン・ネグロス島、ボホール島で主にマングローブの植林など環境保全活動を行うNGOです。

かつて、対象地域のネグロス島の臨海部はマングローブが豊かな土地でした。しかし、材木の利用、農地開墾や養殖池への転換など、マングローブの伐採が継続的に行われてきたため、1950年代に13,000haあったマングローブの森は、一時500haまで減少しました。

干潮域に生育するマングローブの森は、



水生動物の産卵場所、小魚や甲殻類の生息地として重要です。また、マングローブは他の樹木に比べて二酸化炭素の吸収量が大きいことから、近年では気候変動を緩和する効果が注目されています。

シーテッククリック募金により、西ネグロス州シライ市バラリン村にて340本のマングローブの苗を植林することができました（苗代、運搬費や間接経費などで1本当たり100円のコストがかかります）。今後、地元住民が継続してメンテナンスを行い、森を育てていきます。

皆様一人ひとりのクリックが募金につながったことに感謝し、途上国の環境保全活動を継続していきます。今後とも応援をよろしく申し上げます。



シーテッククリック募金とは？

シーテッククリック募金WEBサイト (<http://www.ctechcorp.co.jp/bokin2023/>) より期間中に「応援します」をクリックして頂きます。1クリック=10円としてクリック数に応じて（株）シーテックが環境分野で活動する名古屋NGOセンター加盟5団体へ寄付します。上限金額は20万円です。

ご寄付20万円の配分について（2024年3月31日）

- | | | |
|--------------------|---------|---------|
| ・(特活) 地域国際活動研究センター | 34,000円 | |
| ・ニカラグアの会 | // | 円 |
| ・南遊の会 | // | 円 |
| ・(認定特活) アイキャン | // | 円 |
| ・(特活) イカオ・アコ | // | 円 (順不同) |

※事務手数料として寄付金額の15%（3万円）を頂戴しました。

特定非営利活動法人名古屋NGOセンター

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F

TEL&FAX 052-228-8109 E-Mail: info@nangoc.org